

舞台 技術

セミナー vol.8

イメージ クリエイト

響きを想像・創造する

日時：2018(平成30)年 **6月5日(火)** 10時30分～16時30分

会場：東京芸術劇場 プレイハウス(2F)

参加費：1,000円 定員：100名 ※先着順・要事前申込み

対象：音響技術者、文化施設職員、高校・大学・専門学校生、舞台音響に興味・関心のある方

響きを

イメージ クリエイト

想像・創造する

ホール・劇場には固有の響きがあります。それは劇場のキャラクターであり、特にコンサートホールはその響きゆえに「楽器」とも言われます。では、その楽器に合わないジャンルの作品は上演不可能でしょうか?「そうも言ってもらえない」時もありますし、「チャレンジしてみたい」公演もあります。そんな時、「響きを創り出す方法」があれば、公演が成立できる、作品のジャンルに適した響きにすることができるようになるでしょう。ホール(楽器)本来の響きを否定するのではなく、大切にしながら、音楽や演目をよく理解して響きを最適化し、より高いクオリティを目指す。Make better。その舞台技術は、もう始まっています。

● 10:00

受付開始

イメージ クリエイト

● 第一部

講演「響きを想像・創造する」

10:30～11:10

内容:ヨーロッパの劇場などで活躍するトーン・マイスターの役割について。東京芸術劇場公演での響きと創生の実例紹介と、全国共同制作シアターオペラツアー6年間の音響デザインについて解説。オペラ、クラシック等、上演に適した「空間の最適な響き」の創り方について。
プレゼンター:石丸耕一(東京芸術劇場 管理課 舞台管理担当係長 音響担当)

● 11:10～11:20

10分休憩

● 第二部

解説実演「ヤマハサウンドシステム《AFCシステム》の紹介」

11:20～12:30

内容:1.あらかじめプリセットされた響きの再現で公演を実現、東京国際フォーラムのラ・フォル・ジュルネや、兵庫県立芸術文化センターでの活用実例の紹介。
2.「AFCシステム」の解説と実演

プレゼンター:石丸耕一(東京芸術劇場 管理課 舞台管理担当係長 音響担当)
金子彰宏(兵庫県立芸術文化センター 主任舞台技術専門員)
兼子紳一郎(ヤマハサウンドシステム株式会社 設計企画部 テクニカルマーケティング課 課長)
渡辺隆行(ヤマハ株式会社 PA事業推進部 空間音響グループ 主務)

● 12:30～14:00

お昼休憩(機材見学もご自由どうぞ)

● 第三部

実演体験「プレイハウスでの《AFCシステム》を取り入れた音響空間創生の実験」

14:00～16:30

内容:1.コンサートホールの響きをプレイハウスに再現し、歌手・演奏家による実演を通して音の響きを体験。実演側の感想や意見にも注目。また、AFCシステムのON/OFF時の空間・感度の違いや、同システムへの現場からの要望、今後の期待についてなど。
2.フィードバック(振返り)/質疑応答

プレゼンター:東京芸術劇場 音響チーム
金子彰宏(兵庫県立芸術文化センター 主任舞台技術専門員)
兼子紳一郎(ヤマハサウンドシステム株式会社 設計企画部 テクニカルマーケティング課 課長)
渡辺隆行(ヤマハ株式会社 PA事業推進部 空間音響グループ 主務)

【申込受付期間】5月4日(金・祝)～5月18日(金)

【お申込方法】メールのみ

申込先 seminar@geigeki.jp

件名「技術セミナー参加希望」として

- ① 代表者氏名(ふりがな)
- ② 所属(あれば)
- ③ 人数
- ④ 音響の経験有無
- ⑤ 当日連絡用の電話番号
- ⑥ メールアドレス

上記①～⑥を明記の上、お申込みください。こちらからの返信をもってお申込み完了となります。

※お申込み時にいただく個人情報、本セミナーのお申込み以外の目的には使用いたしません。

問合せ 東京芸術劇場 事業企画課 人材育成担当 03-5391-2116



文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1
Tel.03-5391-2111
<http://www.geigeki.jp/>
JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道 池袋駅西口徒歩2分。
池袋駅地下2b出口直結。

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

舞台
技術
セミナー Vol.18

Tokyo Tokyo
FESTIVAL